

エコ花ライフ ～緑のカーテンを作ろう～



●緑のカーテンとは？

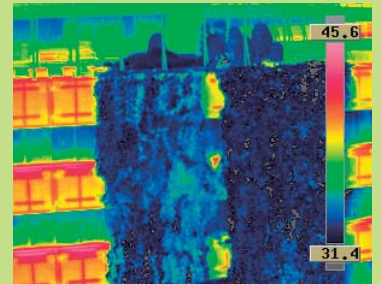


(宇佐市 F.K さん)

緑のカーテンは、誰にでも手軽に取り組める環境活動の一つです。アサガオなど、つる性の植物を建物の窓辺や外壁にはわせることにより、熱エネルギーを遮断する効果があり、夏場のエアコンの使用電力を省エネできます。また、葉の気孔から水分を蒸散し、それ自身が暖まることがないため、室温の上昇も低く抑えられ、体感温度も涼しく感じられます。このほか、騒音の低減効果などもあります。

また、建物の表面温度を下げ、熱を貯めるのを防ぐ効果があることから、都市部では屋上緑化、壁面緑化とあわせてヒートアイランド対策としても注目されています。

緑のカーテンの効果



緑のカーテンのある建物を、サーモグラフィで計測したところ。表面温度が下がっているのが分かります。

(写真提供:東京都板橋区)

●環境教育でも注目される、緑のカーテン

緑のカーテン作りは、子ども達が植物に親しみながら、緑のもたらす涼しさを体感できることから、環境教育を実践する場としても注目されています。

自然の優しさや大切さに触れることで、ライフスタイルを見つめ直すきっかけとなり、様々な地球温暖化防止の取り組みに結びついていこう。



東京都板橋区立板橋第七小学校では、小学校6年生が総合的な学習の時間を利用して緑のカーテンを制作しました。

(写真提供:板橋区立板橋第七小学校)



県内でも、学校や幼稚園などでの取り組みが始まっています。(大分市 富士見が丘幼稚園)



緑のカーテンの作り方 (アサガオ編)



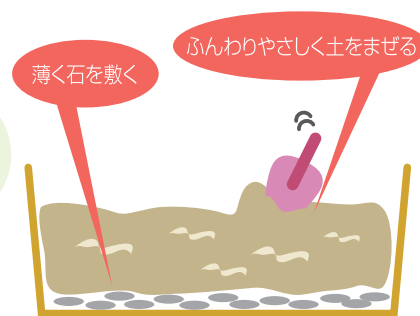
用意するもの・培養土・ネット・支柱2本位・肥料・植物用消毒剤・プランター

1 まず、プランターにタネまき準備。

まず、プランターの底に、薄く小石を敷いてね。その上からふんわりと培養土をかけましょう。

ポイント

1. 生ごみからたい肥をつくって土にまぜると、もっと環境に優しくて植物が元気に育つ土ができるよ。(プランターでも生ごみたい肥が作れるよ。プランターに土を入れ、小さく切った生ごみを土とよく混ぜて。1か月くらいで堆肥になるよ。ときどき混ぜてね。)(生ごみたい肥の作りかたはP10でも紹介しています。)

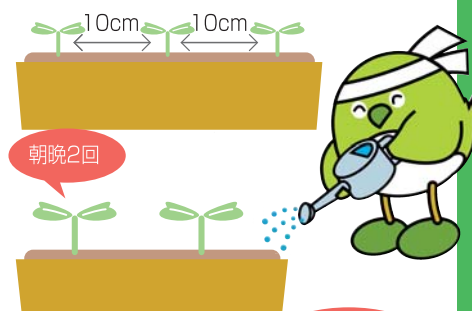


2 芽が出たら、心を込めて育ててね。

タネをまいたら、薄く土をかけて水をあげましょう。たくさんの芽が出たら、10cm間隔になるように抜いて、別のプランターに植え替えてあげましょう。

ポイント

1. タネを一晩水に浸けておくと、芽が出やすくなるよ。
2. 水はたっぷり、朝晩2回あげよう。(芽が小さいうちは、朝だけで大丈夫。)お米のとぎ汁も、栄養があってオススメです。



3 つるが出てきたら、緑のカーテンにしよう!

アサガオが大きくなって、つるが出てきたら、緑のカーテンになるようにネットに巻き付けてあげよう。すてきなカーテンができるといいね!

ポイント

1. うまく巻き付かないときは、つるをネットにビニールひもで結んであげてね。
2. 虫がつかないように、ときどき消毒してあげてね。



タネが穫れたら一日日かげに干したのち密封容器で保管して、来年もまた緑のカーテンを育てましょう。

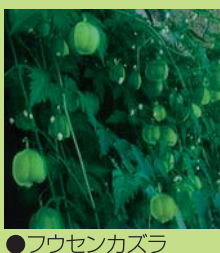
●ほかにもこんな緑のカーテン



●にかうり (ゴーヤ)



●へちま



●フウセンカズラ



●ユウガオ

緑のカーテン写真館

皆さんから寄せられた写真を紹介します

学校で…



(豊後高田市立三重小学校 さん)

5年生が昨年とったヘチマの種を使って育てました。3階の4年生の教室までつるは伸び、屋上にまで届く勢いでした。年々「地球にやさしい心」が受けつがれています。

(豊後高田市立呉崎小学校4年地球にやさしいブンブン隊 さん)



(大分県立竹田養護学校 さん)



ベランダに置いた鉢の水やりは大変でした。特に夏休みに枯らさないように、みんなで当番を決めて水やりをしました。

(大分市立下郡小学校栽培委員会 さん)

家庭で…

家庭からは、庭やベランダを利用して、個性豊かな作品が寄せられました。生ごみ肥料をはじめ、肥料を使ったものがよく成長したようです。



(別府市 G.N さん)



(大分市 家永 さん)



(大分市 野上 さん)



(国東市 Y.T さん)



(大分市 A さん)

企業や施設でも…



(由布市 金子商店 さん)

宿根朝顔については、毎年オフシーズンの刈り込み、竹垣の組み直しやネットの張替え等を行い、シーズンにはつるが勢いよく全体にはう様に手入れを実施しています。



(近畿環境興産株式会社 九州支社 さん)

大きなカーテンができました



事務所の南側にある緑のカーテンです。このカーテンのお陰で、毎年涼しい夏をおくっています。

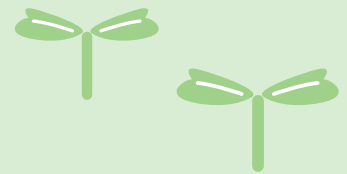
(大分市 濱田法律事務所 さん)



(豊後大野市 三重町農村環境改善センター さん)

ボランティア団体の活躍で設置

豊後大野市では、三重町ボランティア連絡協議会の協力によって、様々な施設に緑のカーテンが設置されました。



(豊後大野市 三重町ふれあい児童館 さん)

その他、応募者コメントから

ウチの緑のカーテンはゴーヤで作っております。

最初はひょうたんやヘチマの方が葉がよく繁るのでそちらで作っていたのですが台風が来た時がちょっと大変、かつ収穫した実を持って余っていたので、昨年あたりから食べられるゴーヤを使っています。

ところで、ゴーヤはタネから育て始めては一番暑い時期に間に合いません！ちょっと値が張るけど苗からじゃないと大分では無理ですね。(最低気温が20℃以上にならないと発芽しにくいみたいです)

(別府市 U.I さん)

ゴーヤはベランダでもよく育ちますが、虫が来ないので人工授粉してやらないと実がなりません。

(大分市 Y さん)